



ファーストクラスに乗る人の
コツコツ貯める習慣

ハナ@お得に旅する情報発信 著

CROSSMEDIA PUBLISHING

本書を正確に読むために

重要事項

本書の事例として取り上げている、諸税・燃油サーチャージ・マイル数・旅程などの情報は全て2026年7～8月時点のもので、あくまで参照レベルのデータとして捉えてください。

プロローグ

ちよつとした工夫で
旅がファーストクラスに乗るような、
代えがたい経験になる

大切な人と過ごせる時間は、

思っているよりも長くないのかもしれない。

そのわずかな時間を、大切な人に会いに行く時間にしませんか。

知識と情報を使えば、1回の旅を1・5回にできます。

皆さん、こんにち。本書を手にとってくださり、ありがとうございます。

ファーストクラスというと、「自分には一生縁がない」「お金持ちだけが乗るもの」と、どこか別世界のように感じている方が多いのではないのでしょうか。

海外旅行はハードルが高いと感じる人も多く、日本で不自由なく暮らしている現状では、国内旅行で十分だと考える人もいるでしょう。「わざわざ時間とお金を使って海外へ行く価値を感じられない」という声も聞こえてきそうです。

私自身、SNSで情報発信をしていると、「ハナさんって日本に興味がなさそう」「別世界の人みたいに見える」と言われることもあります。しかし実際のところ、私は日本が好きです。日本は清潔で食事が美味しく、素晴らしい四季と観光資源に恵まれています。何より、日本の方々は優しく、私にとって最も安心できる場所です。

一方で、日本から海外へ渡航する際、主な移動手段は飛行機であり、最近では円安も進んで、金銭的な負担を更に増加させています。「海外へ行って視野を広げるべきだ」という意見はよく目にしますが、金銭的・時間的な事情は人それぞれ、誰もが簡単に実行できるわけではないと、私は考えています。

お子様連れの旅行では、そのハードルが格段に上がることは容易に想像できますし、更に、数日間家を空けられない方、新卒で奨学金の返済に追われる社会人1年目の方々にと

つては、「海外旅行どころではない」というのが本音でしょう。

しかし、知識を活用し少し工夫するだけで、同じ支出でより多くの旅の経験を得ることができます。

これまで1回の旅行で得られた経験が、1・5回分に相当するものとなる。そんなことが、本当に起きます。しかもその増えた0・5回は旅行のためだけのものではありません。

たとえば、帰省の片道航空券に充てることもできます。同じ知識と工夫があれば、遠くに住むご両親に、今まで年に1度しか帰れなかった方も、2回、3回と会いに行く回数を増やすことができるかもしれません。

私自身、もともとはただの主婦で、海外旅行は年1〜2回程度でした。昔から旅は大好きでしたが、今では情報を活用することで、ファーストクラスやビジネスクラスで世界を巡る旅人になりました(★訪問国数、40カ国以上訪問。ファーストクラス・ビジネスクラス搭乗50回以上、旅行情報SNS発信歴6年★)。「発信者だからできるのでしょいう」という声も頂きますが、私の周りやフォロワーさんには主婦の方や学生さんも、同じ仕組みや習慣を使つてファーストクラスで世界を旅している方が沢山いらっしゃいます。中には現役大学生で、ビジネスクラスやファーストクラスを100回以上搭乗したという方もいらっしゃいます。

ファーストクラスに、乗るためのゲーム攻略

その方たちの共通点はただ一つ。情報を自分で活用し、やるべきこと・やらないことを自分で決め、ひたすらコツコツと続けることです。最初からお金や時間的な余裕があったわけではなく、特別なスキルがあったわけでもありません。難しく考えすぎず、まずは一つだけ試してみて、そしてそれを重ねていく。その小さな積み重ねが、知っているか知らないかの差となり「気がつけば大きな違いになっていた」という状態になります。

ビジネスクラスやファーストクラスに乗ることは、実はゲーム要素も多いと思っています。たとえばファーストクラスに乗りたのであれば、「どこが空席が多いか」「その路線のマイル数を獲得するのに最短の方法はどれか」「最終的にどうやって手配するのが一番現実的か」といった点を考えます。更に、「この旅先の名物は何か」「外食で試すには少し高いな」といった場合、この部分は妥協して、空港のラウンジや機内食で名物を味わえるか、といったゲーム感覚で楽しんでいます。

また、座席クラスにかかわらず直行便ではなく乗り継ぎ便を利用する方が航空券は安くなる場合があります。手配をしやすくなる一面もあります。その際、私はあえてこの乗り継ぎ

を利用して、24時間ぎりぎりの乗り継ぎ時間に近づけながら都市ホッピングをすることがあります。乗り継ぎは通常、空港の外に出ることはなく、ターミナル間を移動するだけで次の便に乗ることが多いです。経由地での24時間以内の滞在は乗り継ぎとみなされます。なぜ、わざわざ乗り継いで、一見面倒に思えることをするのか。大きく分けて二つ理由があります。

一つは、次に家族で行く旅先の候補地を、お試して訪れて楽しめることです。気に入った場所があれば、そこが次の家族旅行の行き先になります。

もう一つは、思いがけない場所が乗り継ぎ先として出てくることです。そんなときも、この空港の名前は聞いたこともないし、何があるのかよく分からないけれどせっかくだから楽しんでみよう。一生に一度しか降りない空港かもしれない。「これもご縁だ」と思うようにして楽しんでいます。

日常から非日常へ抜け出す

これは楽しめる人と楽しめない人に分けられると思いますが、私は、自分でよく分からない土地にあえて行って、わざと自分にストレスをかけることも楽しみだと思っています。

入国にすごく時間がかかったり、何かをするにも一筋縄ではいかなかったり。そのような経験を繰り返していると、普段の生活で多少のストレスがあっても、見過ごせる力がついてくる。そう体感しているからです。

何もないエリアにいたっては「さーて、このエリアめばしいものが何もないぞー、ここからどうやって楽しもうかあ、いやいや私のリサーチ力がきつと足りないんだ、どんな土地にも何かしらあるはず!」と、自問自答しながらも、どうやって楽しむかというゲームも、自分に課しています。

直行便よりお得に行ける可能性が高い「乗り継ぎ航空券」を使って思いがけず行き先がひとつ増えて、その場所をどう楽しむかに頭をひねって、ときには自らストレスを取りに行く。これもまた、乗り継ぎの楽しいところです。

旅の概念を少し振り払って、「本来の目的」である観光地に焦点をあてるところから、航空券の移動、「旅の手段」である手配方法に注目をし、目的と手段をあえて入れ替えて、知識と楽しみ方を増やしていく。すると、普段の生活でも視野を広げたり思いがけない発想をする応用が沢山できるようになっていきます。

限られた人生の時間のなかで、いかに同じ支出で体験を増やせるか。本書がそんな考えのきっかけになってくれたら、うれしいです。

目的と手段を入れ替えることで、見えてくる新しい世界へ

もつとも、自分からストレスを取りに行くというのは、私のちょっと極端な例かもしれないですし、そこまでしなくても大丈夫です。ただ、知識を使って工夫して体験を増やしていくには、いつもと同じ生活のままで少し難しいのも事実です。

現状の延長線上にあるのは、変わらない現実。だからこそ、変化を起こす必要があります。たとえば本書を閉じたときに、何か一つでも旅先を決めてみる、本書に書いてあるテクニックを一つでも実施してみる。航空券を検索してみても知らない空港が検索で出てきたとき、ここには一体何があるんだろう？ と調べてみる等、普段と違う視点を持ち続けたり、ちょっとあまり馴染みのない国のフェスティバルが開催されていたらよく分からないけど覗いてみる。このような普段とは異なる行動や、他国に目を向けることを習慣にすると、自然と世界が広がっていきます。

私のフォローさんにも、こんな方がいました。あまり海外に行かない、基本的には国内旅がメイン、今は60代の方です。ソウルでのオフ会のように、初めての海外一人旅を

「えいや」と決めて来てくださいました。そうしたらその方、その後どんどん飛び回るようになってしまつて、今では気がつくところかへ飛んでいて、「また飛ぶの」というような状態です。最初の一步を踏み出すと、世界はこんなふうに変わっていきます。私にとつてのその世界が広がる一步は、初めてファーストクラスに乗った日のことでした。担当のCAさんがチケットを見ただけで私の名前を覚えていてくださったことを、今でも鮮明に覚えています。

座席番号だけで名前を覚えてもらえるおもてなしは、なかなかない機会かもしれません。最初の挨拶で「〇〇さん」と名前で呼ぶこと、目を見て話すこと、程よい距離感で接すること。シンプルなことですが、私自身、今でもなかなかできていないと思います。

ファーストクラスは豪華さを楽しむ場所でもあります。細部の積み重ねから沢山のことを学べる場所でもあつて、プロフェッショナルな接客を実際に体験し、もつと多くのことを学びたい。それが、初めてファーストクラスに乗ったときの正直な感想でした。

とくにマイルの知識を活用してファーストクラスに乗り、旅を重ねていく中で、主に次の3つの力が自然と身についていきます。

①世界最高峰の接客から学ぶ、一流の所作と気配り

ファーストクラスの機内では、その航空会社を代表するようなプロのCAさんが接客をしてくれます。提供される機内食・サービスもすべてその航空会社の最高のものが集約されたサービスです。ときには、国の要人や王族を迎えることもある空間のため、そこで受けられる接客は世界トップクラスのサービスだと私は思っています。一度受けてしまうと、良くも悪くも忘れられません。いまでは仕事で人と接するときにも、あのCAさんたちならどうするか、と考えることがあります。

②事業経営にも通じる、物事を最短で現実にする「逆算思考」

知識を使つてファーストクラスに乘ろうとすると、思い立ってすぐに乗れるものではありません。どうすれば乗ることができるのか、必要な行動や物事をゴールから逆算して考えます。そして、何が現実的に実行できて、何が難しいのか。どこまで妥協できるのか。ひとつずつ整理して、最短の手配方法を組み立てていきます。このようにゴールから逆算する組み立て方があらゆる場面で癖になり、いまでは仕事の段取りも、プライベートの予定も、まず「いつまでに」「何をするのか」「どんなことが必要なのか」を洗い出すようになります。この逆算思考は仕事にも役立つ力だと思っています。

③トラブルを経験値に変える、想定外への対応力

旅を重ねている方ほど、トラブルの話を楽しそうにします。乗り遅れそうになったり、全く違う場所に着いてしまったり。

私かというと、夜中に電波のない場所で、全く知らない土地のホテルから離れたところでUberに降ろされたこともあります。その瞬間は冷や汗ものですが、冷静に、今できることは何か、代わりの手段はあるか、誰に聞けば一番早いのか、と頭を切り替えて動くしかありません。

これを何度も繰り返していると想定外そのものに慣れてきて、「これはもはやネタになるトラブルのやつだ」と思える余裕も出てきます。いまでは仕事で急なトラブルが起きたとき、まわりが慌てている中で自分だけ妙に落ち着いていることがあります。旅で散々鍛えられたおかげだと思っています。

他にも色々あると思いますが、この3つはファーストクラスという特別な空間に限らず、日常や大切な人との時間にもそのまま生かせるスキルだと思います。

この本では、海外の旅の醍醐味とともに、私を含めマイルを使って実際にファーストクラスに乗っている方たちが行っていること、ファーストクラスに乗るとどんな世界があるのか、そしてファーストクラスとは言わずとも、今の旅行回数を更に増やす実践的な内容まで、難しい言葉をなるべく使わず、そのままお伝えしていきます。

読み終えるころには、移動そのものが今より身近になって、大切な人ともっと会えるようになり、かけがえのない思い出が少しずつ増えていく。そしてファーストクラスの世界が、ほんの少しだけ身近に感じられている。そうなっていたら、私はすごくうれしいです。

この本を片手に、皆様の旅の体験が増えることを、心より願っております。

*Welcome
on
board!*

ちよつとした工夫で旅が
ファーストクラスに乗るような、
代えがたい経験になる

ファーストクラスに乗る以前の、グローバルな視座の獲得

EP.1

エコより安いファーストクラスが存在

..... 22

日本は快適すぎて、海外が不要に見えてしまう

..... 26

島国という地形は出国のハードルが上がる

..... 31

国内旅は回復の旅、海外旅は更新の旅——同じ予算でも役割が違う

..... 35

前提が異なる海外体験は、視野を広げる最高の投資

..... 39

実は一部の主婦、学生でも

EP.2

“情報活用でファーストクラス”に乗っている

..... 43

ファーストクラスに乗る人のゲーム攻略（ポイ活基礎編）

EP.3

一流サービスを受ける＝実は、最強の投資

ポイントの価値は円の10倍!?

コンビニ・スーパーで貯まるポイントもマイルの原資に

ポイントサイトの話

効率悪いポイ活は非推奨

普段の外食もへアカットも、モニター案件でマイル原資に

ゼロからポイ活を始めるなら

ポイントをマイルに変える方法と、知っておきたい注意点

EP.4

飛行機オタクの機材の話

あなたの知らないマイルの世界

EP.5

航空会社ごとに違う“一流”の形。文化が変われば、サービスも変わる

.....88

クレカは年間のサブスクリプション

.....93

年会費無料と有料の違い

.....96

固定支出をクレカに集約する

.....100

家族カード合算と、QRコード決済の話

.....106

クレジットカード入会特典を狙いに行く話

.....109

20代・学生のうちに知っておきたい、

.....114

年会費を抑えてマイルが貯まるANA・JALカード

.....114

ポイント交換のみ死蔵カードについて

.....117

EP.6

ファーストクラスに乗って変わったお金と時間の考え方

.....121

得するマイルの使い方／損するマイルの使い方

EP.7

一流サービスの共通点は「消耗させないこと」

マイル／基礎の使い方

初心者おすすめるはこの2択、JALマイル・ANAマイル

JALマイル・ANAマイルの使い方 基礎く応用

ANAマイルで乗れる、燃油サーチャージを抑えやすいベトナム航空

ただの経由ではない。乗り継ぎで旅を増やす方法

ストップオーバーで、旅程をもう一つ増やす方法

ファーストクラス手配実例

EP.8

ファーストクラスに乗るまでのプロセスは事業経営と似ている

ファーストクラスに乗る人のコツコツ貯める習慣

EP.9

一生に一度の思い出にもなる世界

「移動で貯める」毎日の移動を、マイル・旅費の一部に

買い物で貯める

宿泊でマイルにする

給料の受け取り口座設定見直し

ポイント交換レートUPキャンペーンを活用

普段のスマホ通信活用

最後に必要なのはやらないことを決めること

EP.10

ファーストクラスに乗る以前の、勝手な「ファーストクラスへの妄想」